



牛馬音三(新井)峠口

熊野古道と
新井峠



熊野古道 →

Kumanokodo



牛馬童子 →

Gyubadoji

800m



100
M先







はしおりとうげ ギョウバどうし
箸折峠の牛馬童子

箸折峠のこの丘は、花山法皇が御経を埋めた所と伝えられ、またお食事の際カヤの軸を折って箸にしたので、ここが箸折峠、カヤの軸の赤い部分に露がつたうのを見て、「これは血か露か」と尋ねられたので、この土地が近露という地名になったという。この宝篋印塔は鎌倉時代のものと推定され、県指定の文化財である。石仏の牛馬童子は、花山法皇の旅姿だということも言われ、その珍しいかたちと可憐な顔立ちで、近年有名になった。そばの石仏は役ノ行者像である。

Hashiori-toge Pass and Gyuba-doji Statue

The names Hashiori-toge and Chikatsuyu derive from an event which took place here during one of the first imperial pilgrimages to Kumano. Retired Emperor Kazan (968-1008) was constructing sutra mounds when he picked two kaya reeds to use as chopsticks. Upon noticing dew on the red stalk, he inquired whether it was "blood or dew", "chi ka tsuyu" in Japanese. Subsequently this pass was called "Hashiori" or "bent chopsticks", and the village "Chikatsuyu". The statue on the left is known as Gyuba-doji and depicts Kazan as a boy riding a horse and cow. To its right is a stone carving of Ennogyojo, the legendary founder of Shugendou, a mixed religion based on mountain ascetic practices. A third monument, a Hokuyin-to stupa dating from the 12th century, is located behind those two and is a Prefectural Designated Cultural Property.























KUMAMOTO

牛馬童子像

Gyuba doji Sta ue

0.2km



0.3km

近霧王子

Chikatsuyu-oji

世界遺産

熊野古道

参道







熊野
古道

なかぐち美術館

KUMANO KODŌ NAKAGUCHI MUSEUM





熊野赤宮

熊野赤宮

熊野赤宮

熊野赤宮

熊野赤宮

車





納言

熊野大権現

熊野大権現

熊野大権現

熊野大権現

熊野大権現

熊野大権現

熊野大権現

献
燈



新たな自分自身の
出発を熊野で祈り

神に
母に
心
に
いた
だ
か
ま
す

熊野の歴史と文化
熊野の歴史と文化
熊野の歴史と文化
熊野の歴史と文化
熊野の歴史と文化
熊野の歴史と文化
熊野の歴史と文化
熊野の歴史と文化
熊野の歴史と文化
熊野の歴史と文化

熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣

熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣

熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣

熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣

熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣

熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣
熊野詣











八咫鳥やたがらす(由来)

熊野では八咫鳥を神の使者と言われています。三本足とは熊野三党(宇井・鈴木・榎本)を表わすとも言われ、当社では主祭神**家津美御子大神(素盞鳴尊)**の御神徳である**智・仁・勇**、又**天・地・人**の意をあらわしています。

鳥は一般に不吉の鳥とされてきているが、方角を知るので未知の地へ行く道案内や、遠隔地へ送る使者の役目をする鳥とされており、熊野の地へ神武天皇御東征の**砌**、天皇が奥深い熊野の山野に迷い給うた時、八咫鳥が御導き申し上げたという意があります。又、歴史上の一端より触れて述べれば源平合戦の折那須与一出身地(栃木県)鳥山城は鳥が金の御幣(神のお告げ)をこの地にもたらしたので築城したといわれています。

次に世界各国の一部を記せば、

◎スカンジナビア

オジンの神の肩に止まった鳥が二羽、一つは思考、一つは記憶と名づけて毎朝二羽の鳥を放って、世界中のことを報告させたといわれている。

◎古代ギリシャ

鳥はアポロの神の標識

◎ツリンキート族

火を最初にもってきて、光を人にあたえたのは鳥であると伝えられている。

又、最近スポーツのサッカーが青少年、若い人々に人気を博している。日本サッカー協会のマークは八咫鳥です(明治時代にサッカーが日本に始まった。この頃から使用されているそうです)サッカー協会のマークに使用された意味は、考えるに目的とする相手チームのゴールをはずすことなく、きちんとゴールへて納めるといふ意ではないでしょうか。

尚、右の意より、当社では今も尚変わらず、

◎人の道開きの開運、人生、目的達成

◎現在地―目的地の間、無事に到達する意・海上安全・交通安全(車・二輪車等) 旅行安全・通学安全の守護として仰がれています。

※八咫鳥のお祭りに関わる祭典

毎年一月七日、夕闇深き時刻(午後五時)に厳修斎行(別り初め)があり、当社の年中行事の中でも中心となる。





